科目名			担当教員	
災害・防災心理学			柴田　理瑛	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
FF3565	1	1	S（講義）	2年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		

※この科目はオンデマンド・スクーリングのみ開講いたします。

科目の概要

■スクーリングで学んでほしいこと

災害と防災にまつわる心理学の様々な領域についての基本的な理論や考え方に関する知識を学び、総合的な人間理解力、批判的・創造的思考に基づく問題発見・解決力、多様な人々への共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力、自己理解に基づくセルフコントロール力といった要素の基礎を修得していただきたいと考えています。

■到達目標

１）災害発生後の人間心理・行動について説明できる。

２）災害発生後の対応に関する基礎的シミュレーション能力を習得する。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「主体的協働力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

（スクーリング時の教科書）スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

【参考図書】

授業のなかで興味・関心をもった内容や疑問点については、下記の参考書を読んで理解を深めることができます（教科書ではありません）。

『不測の衝撃』金剛出版、2014 年

『震災心理社会支援ガイドブック』金子書房、2013 年

『大震災からのこころの回復』新曜社、2015 年

『災害の襲うとき』みすず書房、2016 年

『災害と子どものこころ（集英社新書）』集英社、2012 年

『災害とトラウマ』みすず書房、1999 年

『災害の心理：隣に待ち構えている災害とあなたはどう付き合うか』創元社、2006 年

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	定義と準備	心理学において災害とはどのように定義されているかについて学ぶ
2	セルフケア	災害時のセルフケアと援助要請行動について学ぶ
3	心身反応①	災害時のストレス反応
4	心身反応②	心的外傷後ストレス障害と記憶について学ぶ
5	災害時の支援概論	サイコロジカル・ファーストエイドについて学ぶ
6	災害時における対象別の支援	災害時の子どもの心身反応と対応について学ぶ
7	災害時における対象別の支援	災害とコミュニティについて学ぶ
8	まとめ	対象別の支援のあり方を中心に振り返りを行う
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用し、途中ビデオ視聴を行います。

授業の性質上、災害や喪失体験等が扱われる。したがって、第２回講義ではストレスとの付き合い方（セルフケア）を学習したうえで、各回の内容を学習する形式を採る。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%

試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

講義内容の関心をもったテーマについて、自分なりに学びたいことを調べてください。